

F★★★★

ホルムアルデヒド登録認定商品

低汚染

高耐候

防水性

防カビ

防藻性

各種上塗複合外装仕上げ工法

アレスホールド"工法Z

STANDARD PATTERNS & COLORS

ALES HOLDSYSTEM Z

〈特許 第2610085号〉 JIS A 6909 建築用仕上塗材 可とう形改修塗材 E



関西ペイント

■アレスホールド工法Z

■旧塗膜のテクスチャーを変えた仕上げ

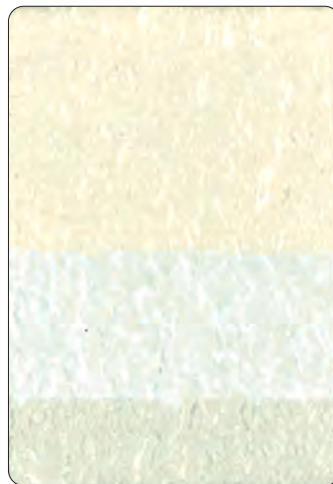
■旧塗膜のテクスチャーを活かした仕上げ



◀コスモシリコン (KP-120)

◀アレスホルダーZ (多孔質ローラー)

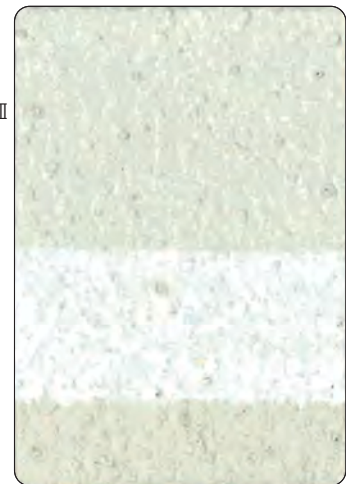
◀吹付けタイル



◀セラMシリコンⅢ (KP-112)

◀アレスホルダーZ (ウールローラー)

◀吹付けタイル



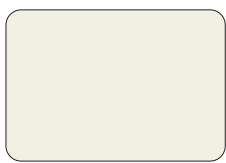
◀コスモレタン (KP-223)

◀アレスホルダーZ (ウールローラー)

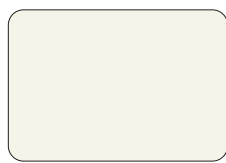
◀リシン

■提案色見本

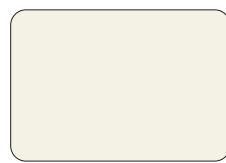
近年の流行色を厳選した、カラーバリエーションにしております。



▲KP-111



▲KP-110



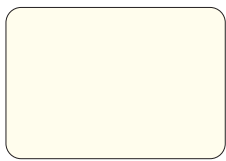
▲KP-112



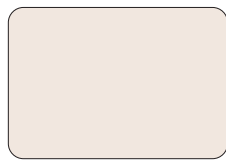
▲KP-223



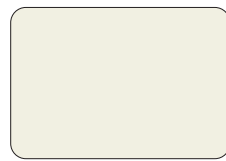
▲KP-221



▲KP-310



▲KP-127



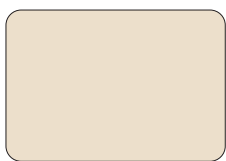
▲KP-121



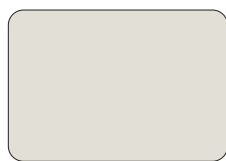
▲KP-133



▲KP-80



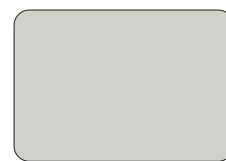
▲KP-337



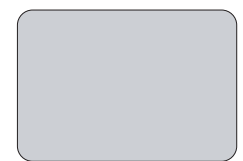
▲KP-120



▲KP-131



▲KP-141



▲KP-247



▲KP-330



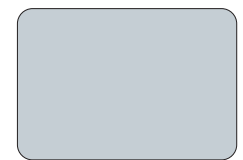
▲KP-336



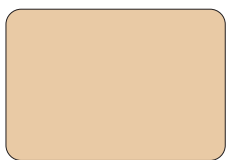
▲KP-147



▲KP-350



▲KP-75



▲KP-347



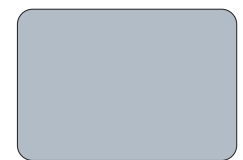
▲KP-357



▲KP-150



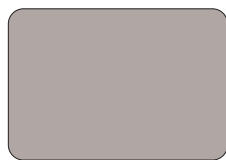
▲KP-352



▲KP-70



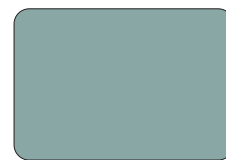
▲KP-356



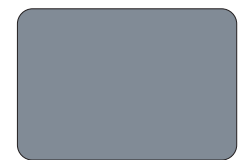
▲KP-167



▲KP-376



▲◎KP-368



▲KP-50

※この色見本は紙に塗装していますので、実際と多少異なる場合があります。

※提案色以外でも日本塗料工業会色見本帳などでの調色も可能です。

◎は材料費が割高になります。

ホルド工法とは

- 水性反応硬化樹脂により、下地との付着性に優れた、耐久性のある塗膜を形成します。
- 上塗塗料の選定により、様々な機能が付与されます。

各種上塗りの特長

※それぞれの上塗りに関する詳細は単品カタログ、または製品説明書を御参照下さい。

	系統	商品名	荷姿	標準所要量 (kg/m ² /回)	主な機能
水性	アクリルシリコン系	アレスアクアシリコンACII	1液 15kg	0.13	・防カビ ・防藻 ・低汚染 ・高耐候
	アクリルシリコン系	コスモシリコン	1液 15kg	0.13	・防カビ ・防藻 ・高耐候
	ポリウレタン系	アレスアクアレタン	1液 15kg	0.13	・防カビ ・防藻
	ポリウレタン系	コスモレタン	1液 15kg	0.13	・防カビ ・防藻
弱溶剤	アクリルシリコン系	セラMシリコンIII	2液 16kgセット 主剤13.7kg 硬化剤2.3kg	0.12	・防カビ ・防藻 ・低汚染 ・高耐候
	アクリルシリコン系	カンペ1液MシリコンHG	1液 15kg	0.13	・防カビ ・防藻 ・高耐候
	ポリウレタン系	セラMレタン	2液 16kgセット 主剤14.5kg 硬化剤1.5kg	0.12	・防カビ ・防藻 ・低汚染
	ポリウレタン系	カンペ1液MレタンHG	1液 15kg	0.13	・防カビ ・防藻

- ◎アレスアクアフッソII(水性)・セラMフッソ(弱溶剤)も上塗りとして使用できます。
- ◎上記の上塗り塗料は「提案色見本」全色の調色が可能です。(アレスアクアフッソIIを除く)
- ◎それぞれの標準所要量は「はけ・ローラー」塗装時の標準量です。
- ◎セラMシリコンIIIには専用の中塗が設定されております。(単品カタログをご参照ください)

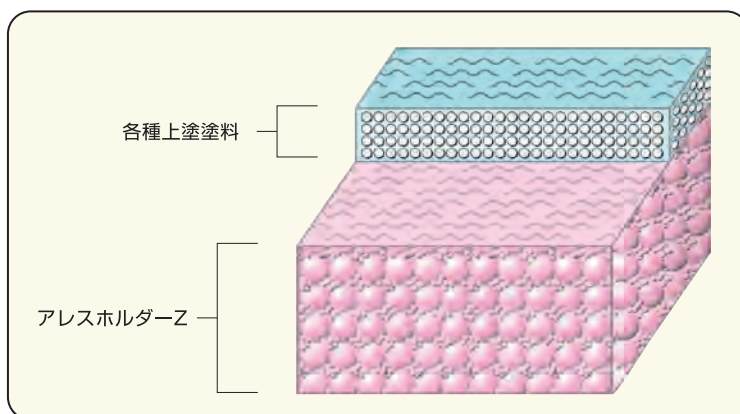
アレスホルダーZの特長

- 1 下地調整材 2 下塗材 3 中塗材

●アレスホルダーZとは

水性反応硬化形エマルジョンを用いた微弾性下地調整材です。

本品は下地調整材、下塗材、中塗材に必要な各性能をすべて持ってあり、塗装方法の選択により、テクスチャーのコントロールも自由自在にできます。



〔標準塗装仕様〕

工程	塗料・処置	塗装回数	標準所要量(注3) (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (%)	
素地調整	新設	エフロ・レイトランス・ゴミ・汚れなどをワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを用いて除去・清掃する。 (pH10以下、含水率8%以下とする。)					0
	塗替	エコカチオンシーラー(注1)	1	0.13~0.17	2時間以上 7日以内	ローラー エアレス	
下地調整材 (下塗・中塗)	アレスホルダーZ 上水	1	0.3~1.5	8時間以上 7日以内	ローラー エアレス・吹付け	下記参照	
上塗	水性ウレタン樹脂仕上	アレスアクアレタン 上水	2	0.13	2時間以上7日以内	ローラー	3~10
		コスモレタン 上水	2	0.13	2時間以上7日以内	ローラー	3~12
	水性シリコン樹脂仕上	アレスアクアシリコンACII 上水	2	0.13	2時間以上7日以内	ローラー	5~10
		コスモシリコン 上水	2	0.13	2時間以上7日以内	ローラー	3~12
	弱溶剤系ウレタン樹脂仕上	セラMレタン 塗料用シンナーA	2	0.12	4時間以上7日以内	ローラー	5~15
		カンベ1液MレタンHG 塗料用シンナーA	2	0.13	2時間以上7日以内	ローラー	5~15
	弱溶剤系シリコン樹脂仕上	セラMシリコンIII(注4) 塗料用シンナーA	2	0.12	4時間以上7日以内	ローラー	0~10
		カンベ1液MシリコンHG 塗料用シンナーA	2	0.13	2時間以上7日以内	ローラー	5~15

注) 1. シーラーは、エポキシシーラーも使用できます。
2. 塗り替えて下地が脆弱な場合、吸込みが大きい場合、下地補修部にはシーラーを塗装してください。
3. 標準所要量は、被塗物の形状や下地の状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。
(平滑面では下限値を目安としてください。)

4. セラMシリコンIII施工時の1工程目はセラMシリコンIII中塗をご使用ください。
5. JIS A 6909 可とう形改修塗材E適合上塗材はアレスアクアグロス、コスモレタン、アレスアクアレタン、コスモシリコン、アレスアクアシリコンACIIです。

〔塗装条件〕

〔下地調整材 アレスホルダーZ〕

塗装方法	ウールローラー	多孔質ローラー	リシガン	タイルガン	エアレス(※)
希釈率(%)	5~10	1~5	7~10	7~10	7~15
標準所要量(注3) (kg/m ² /回)	0.3~0.5	0.8~1.5	0.7~1.0	0.7~1.2	0.7~1.2
希釈剤	上水				

(※) ブランジャー式高粘度用吹付け機を使用してください。

■品名・容量

下塗……………エコカチオンシーラー 15kg
中塗……………アレスホルダーZ 16kg
上塗……………各種(前頁参照)

■施工上の注意事項

- 1) 新設のセメントモルタルやコンクリート面は、含水率8%以下、pH10以下になるまで乾燥させてください。
- 2) 塗替えの場合、旧塗膜の劣化が著しいときは、サンダー・ワイヤーブラシなどでせい弱な塗膜を除去し、高圧水洗を行ったのち1日乾燥後、塗付してください。
- 3) 気温5℃以下、湿度80%RH以上、また、降雨・降雪・強風が予想される場合は、塗装を中止してください。
- 4) 旧塗膜がスタッコのような場合は、各工程の塗料を充分に塗り込んでください。
- 5) 軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業サイディングおよび発泡ウレタンなどを使用した壁断熱工法などの「高断熱型外壁」を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のふくれが生じることがあります。旧塗膜をラッカーシンナー拭きして簡単に塗膜が再溶解する場合は、下塗に「マルチタイルコンクリートプライマーEPO」を塗装してください。
- 6) 濃彩色の塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類・寝具類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。

ご使用上の注意事項

- 下記の注意事項を守ってください。
- 詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

■予 防 策

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護めがね・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・ネリ巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 火災を発生しない工具・防燥型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
- 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

■対 応

目に入った場合:直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合:直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。

- 吸入した場合:空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

■保 管

- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

■廃 棄

- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

■施工後の安全

- 本品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

本社 TEL(03)5711-8904 FAX(03)5711-8934
北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757
東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073
北関東 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223
東京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935
中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981
大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603
中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご了承ください。

ご用命は

(18年11月26刷POM) カタログNo.227
頒布価格 1,500円(税込)